
【各チーム監督、保護者の皆さんへ】※選手への指導もお願いします

- ①大会中、貴重品の盗難等ないように、十分に注意してください。
- ②危険防止のため短距離走では、フィニッシュライン到着後もしくはバトンパス受渡後も必ず自分の割り当てられたレーンを走り通すよう、ご指導ください。(曲走路もレーンに沿って走ること)
- ③ ウォーミングアップ・練習について

監督・チーム関係者が付添い、事故防止につとめてください。

本競技場開場から 9 時 00 分まで行うことができます。

但し、競技会準備を同時に行いますので、当日に利用の制限をお願いする場合があります。

1～2 レーン→周回利用>ジョギング

ホームストレート→6～9 レーン>ハードル

バックストレート→3～5 レーン>テンポ走、7～9 レーン>スタートダッシュ

走高跳ピット→走高跳練習

走幅跳ピット、ジャベリックボール投ピット→競技運営の準備が整うまで練習はできません。

リレー→男子 1000m 終了後～14：20 まで、第 2～3 コーナーでバトンパス練習を行ってください。但し、ジョギング、体操、動きづくりについては補助競技場で行ってください。

100m の練習は 9 時 00 分以降、補助競技場のみで行ってください。

補助競技場

トラック→周回練習、テンポ走左回りで利用する。

直線全天候走路→ダッシュ・テンポ走の練習用としますので、体操や動きづくりは行わないでください。

本競技場側からの一方通行で利用してください。

フィールド内のトラロープで囲まれた範囲とやり投投走路→ジャベリックボール投専用ピット。ジャベリックボール以外のボールでの練習は禁止とします。

フィールド内走幅跳ピット→11 時 20 分までは走幅跳の練習優先とします。

走高跳のマットを利用した練習はできません。

体操や動きづくりは、フィールドの一部、その他の空いているエリアで行ってください。

- ④リレーに出場しない選手のための友好レースについて

リレー控え選手は、「友好男女 100m」に出場することができます。希望者は TIC（競技者案内所）に申し出てください。締め切り時間は 13 時 40 分とします。友好男女 100m に出場した選手はリレー決勝には出場できません。

- ⑤正面入口は競技者案内所（TIC）まで入場可とし、それより先への入場はできません。

- ⑥プログラムで選手の氏名、フリガナ、学年、所属等に間違いがある場合には、必ず、プログラム巻末に添付している「プログラム記載事項訂正申請書」に訂正事項を記入のうえ、競技者案内所（TIC）に提出してください。訂正がない場合は、賞状に誤字が印刷されることとなりますので、必ず確認してください。

- ⑦撮影について、撮影許可証は不要としますが、競技場観客スタンドから、選手の保護者・チーム関係のみ可能とします。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できません。

- ⑧暑熱対策について

- ・熱中症への注意を払い、選手・応援の皆様の予防に努めてください。テント内も高温・多湿時は熱中症のリスクが高くなります。日陰の少ない会場ですので、休憩スペースは譲り合ってください。
- ・日本スポーツ協会の熱中症予防運動指針、WBGT が 31 度以上の場合は「運動は原則中止」に基づき、WBGT が 31 度以上となった場合には、原則として競技進行を中断または延期をします。

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

競技規則・TR5（競技用靴）は適用しない。

2. 選手受付について

(1)受付：7 時 15 分から場所はメインスタンド中央階段 2 階コンコースにて行う。各チーム代表者は各地区に分かれたブースでチーム受付をすること。競技開始後は TIC にて受付対応をすることで来場時間にあわせて受付が可能。

(2)受付の際には、プログラム、アスリートビブス、記念品、記録証を配布する。

3. T I C（競技者案内所）について

競技場 1 階正面入口前に置き、以下の業務を行う。

- ①大会プログラム訂正申請書の受付（申請書は、プログラム巻末に添付）
- ②審判長への抗議は、その種目の正式結果発表 30 分以内（但し、トラック種目で予選がある場合は 15 分以内）に、TIC 係にチーム代表者が申し出て、内容を所定の用紙に記入すること。・ジュリーへの上訴は、審判長の裁定から決勝 30 分以内、予選 15 分以内に TIC へ預託金 10,000 円を添えて、チーム代表者が行うことができる。
- ③友好男女 100m 参加受付 ④落とし物、各種問合せ ⑤プログラム販売（1 冊 500 円）

4. 招集について

- (1) 招集所は 100m スタート地点外側のゲートに設ける。
- (2) 招集時間は、プログラム記載の、競技日程ページで確認すること。
- (3) 招集は招集開始時刻から招集所に入場して、招集完了時刻までに招集所で競技者係の点呼を受けること（直接、競技場所へ行ってはいけない）。その際、アスリートビブス・スパイクピン等のチェックをする。スパイクピンはオールウェザー用を使用すること。スパイクのピンは全種目 9mm を超えないものとする
- (4) トラック競技は腰ナンバー標識のチェックをする。
- (5) 代理人による招集は認めない。
- (6) リレーのオーダー用紙（プログラム巻末に添付、監督の署名が必要）は招集完了時刻の 60 分前までに招集所に必ず提出すること。予選、決勝ごとに提出する。提出が遅れた場合は欠場扱いとし、競技に出場することはできない。
- (7) 棄権をする場合は、本人または代理人が必ず招集所に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。
- (8) 競技場内への入退場は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行うこと。また、出場する選手以外は招集所内に入らないこと。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはそのままの大きさとで胸と背部に確実に固定すること。跳躍競技については胸または背部どちらかでもよい。
- (2) トラック種目の全選手は、腰ナンバー標識をパンツ右側の上部、やや後ろにつけること。腰レーンナンバー標識は招集所で配布する。腰ナンバー標識を受け取っただけでは招集完了とはならないので、注意すること。

6. 競技方法について

トラック競技

- ①レーン順はプログラム記載通りとする。
- ②スタートの合図は英語で行う。（On your marks(オンユアマークス) ※従来の「位置について」→「Set(セット) ※従来の「よーい」
- ③同じ競技者が不正スタートを 2 回行うと失格となる。失格となった場合、そのレースをオープン参加として走ることができる。
- ④スタートはクラウチングスタートのみとする。スターティングブロック使用の有無については選択できる。
- ⑤80m ハードルはハードルの高さが 70 cm、インターバル 13m-7m（9 台）-11m。
- ⑥予選のあるトラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、招集所に掲示する。尚、TIC 又は記録速報の WEB ページでも確認できる。

フィールド競技

- ①試技順はプログラム記載通りとする。
- ②フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ③男女コンバインド A 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。練習は足合わせ時間（バーを置かない）を設け、次に 2 つの高さでの練習時間（バーを置く）を設ける。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更する場合がある。

練習の高さ	1	2	3	4	5	6	7	8	…
90cm/110cm	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後3cmずつ

- ④走高跳は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとする。背・腰から着地した場合は、無効試技となる。2 回続けて失敗をした時点で終了とする。
- ⑤走幅跳、ジャベリックボール投の試技は 2 回とし、すべての試技を計測する。
- ⑥ジャベリックボール投は「ニシ・スポーツ/ジャベボール（140g）」を使用する。競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端につけて（落下地点に痕跡を残すため）、ボール本体を持ち、オーバーハ

ンドスローで投げることにする。＊羽だけを持って投げることは禁止する。助走距離は15m以内とする。
投げたジャベリックボールが地面に着地するまでは助走路から離れないこと。

リレー競技

- ①テークオーバーゾーンは30mである。ゾーン外（ゾーン内のラインを次走者がスタート側のラインを超えて）から走り出すことは失格とする。
- ②リレー競走の競技者は、大きさが最大50mm×400mmの粘着テープ（マーカー）を1箇所、自身のレーン内に貼ることができる。マーカーは主催者が用意し、各走者のスタート地点で出発係が配布する。それ以外のマーカーの使用は認めない。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。
- ③リレーメンバーは当初エントリーしたメンバーのみ出場ができ、同じ団体の他チームからメンバーを入れることはできない。
- ④友好男女100mに出場した選手は、リレー決勝には出場できない。また、予選通過チームの決勝における競技者変更は、傷病等の理由により大会総務が認めた場合に限る。

コンバインド競技

- ①記録に得点をつけて2種目の合計得点で順位を決定する。得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表(2022年度改訂版)』による。得点表は日本陸上競技連盟ホームページ「日清食品カップ全国小学生陸上」ページに公開されている。【URL】<https://www.jaaf-nissincup.jp/>
- ③走幅跳の試技数は2回。走高跳は2回続けて失敗をしたら競技終了とする。
- ④80mハードルと走幅跳における風速は計測するが、得点・順位には影響しない。
- ⑤得点表の通り50点以下は全て50点となる。
- ⑥スタートまたは試技を行い、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DQ)、参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合、得点は0点とする。
- ⑦1種目目に出場し、途中棄権、記録無し、失格、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ⑧1種目目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目には出場できない。
- ⑨1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権、記録無し、失格、参考記録の場合、2種目の合計得点は、得点として認められる
- ⑩2種目の合計得点が同点の場合は、同順位とする。

助力

- ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。(コーチング、トイレ等)
- ②ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバやスマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③コーチ等からの助言は、競技場区域外(スタンド)のコーチングエリアのみとする。その際、スタンドで撮影した機器を、提供する者のすぐ近くの位置で競技者が手に取って操作することは助力にならないが、映像確認後にコーチ等に再生機器等を返さずに、競技場所等に持ち込む場合は助力とみなす。

7. 競技結果について

メインスタンド2階コンコースに掲示をし、長野陸協ホームページ
「DATA_WEB」→「競技会結果2025」にも速報掲示をする。

8. 表彰について

- (1)各種目(友好100mを除く)第1位～第3位にはメダルと賞状、第4位～第8位には賞状を授与する。
表彰予定時間の5分前にTICに集合すること。
表彰後、全国・東海大会の申込を行うので、チーム代表者・保護者も同席すること。
- (2)記録証は受付時に参加者全員に授与する。チーム代表者が氏名や記録を記入すること。

9. その他

- (1)競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。
- (2)全国小学生陸上競技交流大会および東海小学生陸上競技大会についての詳細は申込の際に配布する。
- (3)全国小学生陸上競技交流大会出場資格は、本大会で下記のとおり。複数名が同記録で1位となった場合は抽選で出場資格を決定する。
 - ・本大会で、5年6年男女100m、コンバインドA、コンバインドB、男女混合4×100mの各1位
- (4)第11回東海小学生陸上大会出場資格は、下記のとおり。
 - ・本大会で、5年6年男女、100m、コンバインドA、コンバインドBの各2～6位
 - ・本大会で、男女混合4×100mの2位～6位のチーム
- (5)各大会へのお出場辞退が出た場合は、8位までの選手の中から順に繰り上げて出場資格を得ることができます。その際には、該当チームの代表者に順次連絡をします。

